

アトウイ

2022 小樽市制100周年記念事業

令和4年度アイヌ工芸品展

海と奏でるアイヌ文化

Ainu Culture Harmonized by the Sea



サメの歯がついた儀礼用冠
市立博物館蔵

小樽市総合博物館 本館

2022 12/3(土) — 2023 3/5(日)

開館時間 / 午前9時30分～午後5時

休館日 / 火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 / 本館：一般300円、高校生・市内在住の70歳以上の方150円
中学生以下の方無料

※団体利用(20人以上)の方は2割引です

※身体障害者手帳などお持ちの方、およびその介護者の方は無料です

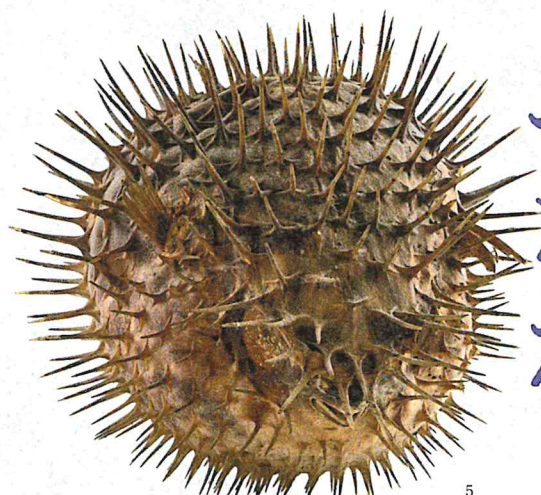
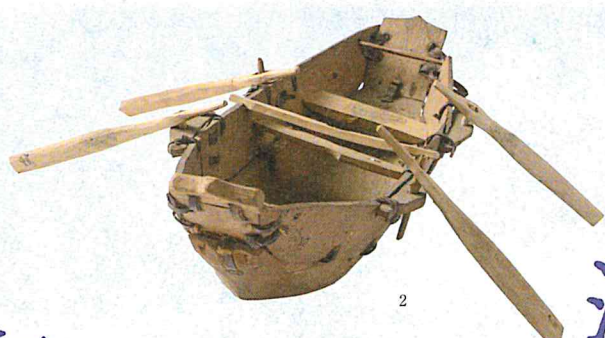
海に祈る

海に生きる

「アトウイ」はアイヌ語で「海」を意味します。
 アイヌ民族は、危険を伴う海上での生業にあたって祈りを欠かさず、
 海の恵みにあずかりながら、また海を通して
 大陸や本州との接触・交渉をもとに豊かな文化を発展させてきました。
 本展では、豊富な民具資料のほか、
 石川県を中心とした北陸地方にある工芸品など、
 広く海とアイヌ文化とのかかわりを紹介します。

海の恵み

海でつながる



1 鉾先 北海道博物館蔵
 2 板綴じ舟(模型) 北海道博物館蔵
 3 イクバスイ/イクニシ 市立函館博物館蔵
 4 小物入れ 早稲田大学會津八一記念博物館蔵
 5 人間を守護するカムイ(ハリセンボン) 国立アイヌ民族博物館蔵
 6 天社丸イナウ奉納額 若宮八幡神社蔵 輪島市指定文化財
 ※下線はアイヌ語種太方言

アイヌ伝統舞踊公演「白糖のフンペリムセ(クジラの踊り)」

■ 日時/12月18日(日)午後5時~6時 ■ 内容/白糖町におけるアイヌ民族の伝統的なクジラの踊りを紹介します。
 ■ 講師/白糖アイヌ文化保存会 ■ 場所/本館・しづかホール ■ 対象/どなたでも ■ 定員/50人(先着順)
 ■ 料金/無料 ■ 申込/当館本館まで(12月1日から受付)

ワークショップ「アザラシ捕獲大作戦!!」

■ 日時/1月7日(土)午後2時~3時
 ■ 内容/アイヌ民族が使用する在来的な漁具でアザラシ(人形)の捕獲に挑戦します。
 ■ 場所/本館・研修室 ■ 対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴) ■ 定員/20人(先着順)
 ■ 料金/入館料のみ ■ 申込/当館本館まで(12月1日から受付)

アイヌ工芸品展とチャレンジラボ「ミニ水族館作り」

■ 日時/1月14日(土)午後2時~3時 ■ 内容/アイヌ文化と海のかかわりの紹介や海の生き物(マスコット)などが入った小さな置物を作ります。
 ■ 場所/本館・実験室 ■ 対象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴) ■ 定員/6組(先着順)(1組4人まで)
 ■ 料金/入館料と材料費150円 ■ 申込/当館本館まで(1月4日から受付)

博物館ゼミナール 小樽学「海獣たちとアイヌ民族」

■ 日時/2月12・19・26日(日)各日午後1時30分~3時 ■ 内容/海獣たちの生態やアイヌ民族とのかかわりを読み解きます。
 ■ 講師/12日「北方諸民族の海獣狩猟文化におけるアイヌ民族の位置づけ」 渡部裕氏(元北海道立北方民族博物館学芸主幹)
 19日「水族館飼育員が語る・海獣たちと祝津の海の魅力」 徳山航氏(おたる水族館飼育員)
 26日「令和4年度アイヌ工芸品展のハイライト-海獣モチーフを中心に」 菅原慶郎(当館学芸員)
 ■ 場所/本館・研修室 ■ 対象/どなたでも ■ 定員/各回40人(先着順) ■ 料金/入館料のみ ■ 申込/当館本館まで(2月1日から受付)



小樽市総合博物館 本館

〒047-0041 小樽市手宮1丁目3番6号
 TEL:0134-33-2523 FAX:0134-33-2678 mail:museum@city.otaru.lg.jp

■ 関連施設 小樽市総合博物館 運河館(本館より徒歩20分) 〒047-0031 小樽市色内2丁目1番20号 TEL:0134-22-1258

